

令和4年度（2022年度）随時監査（工事監査）結果報告書

1 監査の対象

- (1) 工事名 松倉川広域河川改修工事に伴う松倉系導水管および旭岡系配水本管移設工事
- (2) 工事担当部局 企業局
- (3) 予算主管部局 企業局
- (4) 契約担当部局 企業局

2 監査の期間

令和4年（2022年）11月16日から令和5年（2023年）2月24日まで

3 監査の実施方法および内容

監査に当たっては、上記対象工事が法令等および予算の定めるところにより適正に執行されているか、経済性、効率性および有効性の観点等を踏まえて執行されているかなどについて、抽出により、諸帳簿、設計図書等の関係書類の確認をするとともに、関係職員から説明を聴取し、現場調査を実施するなど、函館市監査基準に基づき行った。

工事技術面の調査については、公益社団法人大阪技術振興協会へ委託し、令和4年11月16日・17日に実施した。

なお、上記対象工事の各段階における主な着眼点は次のとおり。

(1) 設計

ア 事業目的に適合した設計となっているか。

イ 仕様書、図面および設計内訳書の設計図書は的確に作成されているか。

(2) 積算

ア 歩掛および単価は適正か。

イ 数量、金額は正確か。また、その算出根拠は明確か。

(3) 契約

- ア 契約の方法および手続は適正か。
- イ 契約書等関係書類および帳簿は确实かつ的確に整備されているか。
- ウ 契約書どおり履行されているか。

(4) 施工

- ア 工事施工計画は適切か。
- イ 設計図書どおり施工されているか。
- ウ 工程管理および品質管理は適切に行われているか。

4 工事の概要

(1) 工事場所 函館市上湯川町134番先から銅山町12番先

(2) 工事内容

ア 松倉系導水管移設工事

ダクタイル鑄鉄管

口径 700mm

施工延長 73.15m

推進用鉄筋コンクリート管

口径 900mm

施工延長 54.60m

発進立坑築造，到達立坑築造

イ 旭岡系配水本管移設工事

ダクタイル鑄鉄管

口径 800mm

施工延長 73.95m

推進用鉄筋コンクリート管

口径 1000mm

施工延長 54.60m

発進立坑築造，到達立坑築造

(3) 請負金額(税込) 255,860,000円

(4) 請負者 山崎建設・青函設備工業松倉川広域河川改修工

事に伴う松倉系導水管および旭岡系配水本管移
設工事共同企業体

(5) 工 期 令和4年7月22日から令和5年3月31日ま
で

5 監査の結果

監査の対象とした工事は、監査した限りにおいて、適正に執行され
ていた。